

けんぽく

第17号[平成27年4月号]

県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する情報をお知らせします。



平成27年4月30日発行
「食」と「ふるさと」
新生運動ニュース

編集・発行 福島県県北農林事務所

福島県県北農林事務所 新所長挨拶

～ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動の取組～

福島県県北農林事務所長 後藤 庸貴



本年4月1日、県北農林事務所長を拝命しました後藤庸貴と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

日頃より県北地方の農林業の推進に格別の御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、県では、東日本大震災及び原子力発電所事故からの復興・再生を着実に進めるため、将来の本県農林水産業のあるべき姿に向け、重点的かつ戦略的に取り組む「ふくしま農林水産業新生プラン」を平成25年3月に策定するとともに、生産から流通、消費に至る様々な立場の人々の思いとその力を集結して展開する新生運動の県推進本部を、平成25年10月5日に設立しました。

これを受け、県北地方では、平成25年11月22日に、流通・消費等に関わる29の関係団体から成る「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動 県北地方推進本部」を設立し、「食の安全・安心運動」、「生産再生運動」、「風評払拭・消費拡大運動」、「情報発信運動」の取組を進めているところです。

昨年、各関係団体の皆様より御協力いただきながら、「県産農林水産物安全・安心実感ツアー（あんぼ柿の皮むき・吊るし親子体験ツアー）」、「製造業者や温泉旅館等への県産食材利用推進キャラバン」、「新生運動の推進に関する意見交換会」などを実施してまいりました。

本年度も、県北地方の農林業の力強い復興・再生、さらには、「ふるさと ふくしま」を若い世代に引き継いでいくため、様々な取組を、皆様とともに積極的に実施してまいりたいと考えておりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本年度も、県北地方の農林業の力強い復興・再生、さらには、「ふるさと ふくしま」を若い世代に引き継いでいくため、様々な取組を、皆様とともに積極的に実施してまいりたいと考えておりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

◆「ふくしま・地域産業6次化新商品カタログ」 (平成27年3月版)が発行!

福島県では、豊かな農林水産資源を基盤として、1次・2次・3次の各産業分野において、多様な事業者が自らの強みをいかして他産業にも分野を拡大し、相互に連携・融合しながら付加価値を向上・創造する取組「地域産業6次化」を進めてまいりました。

「ふくしま・地域産業6次化新商品カタログ」は、県内の各事業者が県産農林水産物を活用し、他業種と連携・協力しながらアイデアを絞りだし、創意工夫と試行

錯誤を繰り返して生み出された「6次化商品」を紹介したものです。

調味料、麺類、お菓子、飲料など福島県の魅力が満載のカタログとなっています。ふくしま6次化情報STATIONのホームページ (URL

<http://www.6jika.com/>)

で、カタログを御覧いただけますのでぜひ御活用ください。(企画部)



新商品カタログの表紙

◆豊かな恵みと笑顔あふれる小国を目指して 「小国地区復興プラン」が策定！

平成 27 年 4 月 13 日（月）、伊達市霊山町の小国ふれあいセンターで、小国地区復興プラン提案委員会総会が開催され、「小国地区復興プラン」が策定されました。

この地域は「明治三十一年十月二十三日 佐藤忠望先生この地に日本最初の農業協同組合を創立す」という碑が示すとおり、共助の精神を誇りとしてきました。原発事故により、地区 400 世帯のうち 90 世帯が特定避難勧奨地点となり、崩壊しかけた集落は、これらの精神を通じて保たれたと言っても過言ではないでしょう。

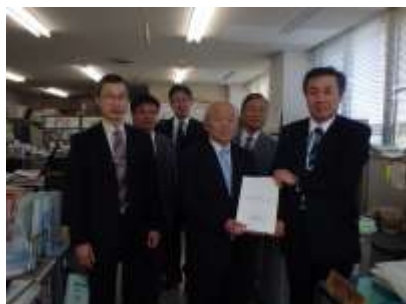
復興プラン提案委員会が平成 25 年 12 月 1 日に設立されて以来、生活環境・福祉健康・農業振興の分科会ごとに検討を重ねてきました。この復興プランは、①安心できる生活環境と生産基盤の除染と復興、②子供たちを中心に全ての住民がともに暮らしやすい環境づくり、③地域農業の活性化と魅力ある農村の将来像を A 4 版 162 ページの冊子にまとめられたものとなっています。

今後、復興プランは区民会に引き継がれることとなりますが、これまでの共助の精神を新たに、決意に満ちた総会となりました。

（伊達農業普及所）



伊達市霊山町小国地区復興プラン



復興プラン提案委員会の代表者と所長

◆「アグリビジネス・ネットワークあだち」が お米のスイーツの発表会を開催！

平成 27 年 3 月 30 日（月）に、二本松合同庁舎で「アグリビジネス・ネットワークあだち」によるお米のスイーツ（米を素材にしたお菓子）の発表会が開催されました。

「アグリビジネス・ネットワークあだち」は安達地方の直売所や農産物加工グループ等、14 の組織で構成されています。県の「農村女性活動再生事業」を活用して、昨年 7 月から、地元産米の利用や会員の加工技術の向上を図るため、お米のスイーツづくりに取り組んできました。発表会には会員等約 30 名が参加し、試作したスイーツを試食しました。



発表会の試食の様子

開発されたお米のスイーツは、ナッツと米粉シフォンケーキ、米粉パウンドケーキ、米粉カステラ、米粉どら焼き、ナッツとレーズンの米粉シフォン、ふんわり米粉ロール、かぼちゃのカップケーキ、アイス屋さんのどらやき、米粉＋野菜のカップケーキ、くるみかすてら、米粉フルーツババロア、桑ポン菓子の 12 商品です。

また、商品と販売店のマップが掲載されている「お米をおいしくアレンジ スイーツ味めぐり」のパンフレットも作成しました。

お米のスイーツは、この 4 月 1 日から「アグリビジネス・ネットワークあだち お米のスイーツ取り扱い店」ののぼり旗が立っている安達地方の道の駅や直売所で販売されています。ぜひ皆さんもお米スイーツの味めぐりを楽しんでみてください。

（安達農業普及所）



「スイーツ味めぐり
パンフレット



「お米のスイーツ取扱いの店」のぼり旗

◆機械活用で省力化！ニラの共同播種^{はしゅ}を実施！

平成 27 年 4 月 6 日（月）に、福島市松川町の松川野菜出荷所において、JA 新ふくしまニラ専門部会による、ニラの共同播種が行われました。

この作業は、全自動播種機を活用することで、生産者の労力を軽減し、栽培面積の拡大を目的として開催されたものです。

当農林事務所からは、「播種時には、発芽までに必要な水分を与え、ハウス内温度を 20℃前後に保つこと」等の育苗時の管理について説明しました。

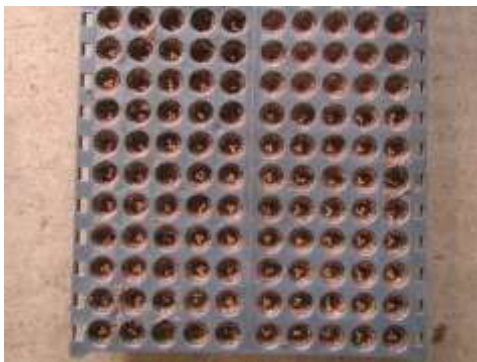
その後、約 20 名の参加者が、パワフルグリーンベルト、ミラクルグリーンベルト、ワンダーグリーンベルトの 3 品種を、専用のトレイ 105 枚に播種しました。

今後、各生産者のハウスで管理された苗は、6 月上旬にオペレーターにより機械定植される予定です。

（農業振興普及部）



ニラの共同播種風景



専用トレイに播種されたニラの種子

◆「笹森山地区森林整備協定」締結される

平成 27 年 3 月 25 日（水）に、福島市の土地改良会館 4 階中会議室において、福島県、福島市、福島森林管理署などの関係者により、「笹森山地区森林整備協定」が締結されました。

笹森山地区は、福島市と二本松市に跨がる民有林と国有林が隣接する森林地帯です。この協定は笹森山地区で森林協同施業団地を設定し、民有林と国有林が、一体的かつ効率的な森林整備及び路網等の整備を推進することを目的としています。

【協定の内容】

（1）協定締結者

福島県県北農林事務所、福島市、二本松市、水原生産森林組合、一般社団法人 洪川愛林文化共栄会、ふくしま緑の森づくり公社、独立行政法人森林総合研究所森林農地整備センター福島水源林整備事務所福島水源林事務所、関東森林管理局福島森林管理署

（2）協定の期間

平成 27 年 4 月～平成 32 年 3 月 31 日

（3）設定される森林協同施業団地

区域面積：1,803ha

（4）整備計画（5 か年間）

森林整備面積：616h、路網整備延長：10,540m

（森林林業部）



協定の概要説明



協定者の記念撮影

左から、洪川愛林文化共栄会理事長 佐久間 仁、二本松市農林課長 菅野 幸一、水原生産森林組合代表理事組合長 加藤 晴一、福島市参事兼農林整備課長 阿部 肇、福島県県北農林事務所長 甲斐 敬市郎、福島森林管理署森林技術指導官 泉田 利明、公益社団法人ふくしま緑の森づくり公社事務局次長 稲本 太一郎、福島県県北農林事務所森林林業部長 佐藤 守（敬称略）

県北商工会連絡協議会

【組織紹介】

県北商工会連絡協議会は、所期の目的である相互扶助と地域内における商工会の総合的な地域商工業の推進を目指して事業を行っています。

県北地域の11商工会（飯坂町、松川町、飯野町、桑折町、国見町、川俣町、伊達市、保原町、あだたら、大玉村、本宮市）で構成されており、毎年持ち回りで各地区において情報サミット（正副会長等の情報交換会）を開催しています。また、各地域の文化や歴史を探訪し、各会員が情報の発信を行うなどしています。

平成26年度商工会長・副会長研修会では、昨年施行された「小規模企業振興基本法」について研修を実施しました。

今後は、これまで小規模事業者の記帳や税務の指導を行ってきた商工会・商工会議所が、地域の小規模事業者の課題を自らの課題として捉え、小規模事業者による事業計画の策定を支援し、その着実なフォローアップを行う「伴走型」の支援を行う体制を整備していくことを目指していきます。

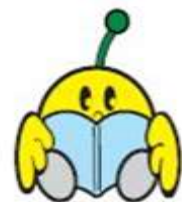
併せて、小規模事業者の活性化と地域の活力向上は表裏一体であることから、市区町村や地域の金融機関、他の公的機関、大企業・中規模企業等との連携を強化し、地域製品の展示会の開催等地域活性化にもつながる面的な支援を通じて、小規模事業者の活動を徹底的に支援していきます。



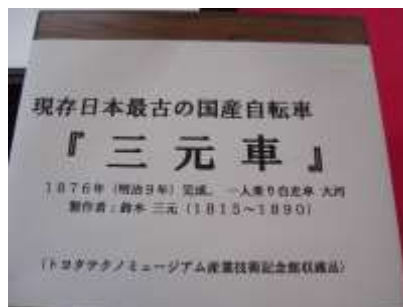
いで湯の里飯坂サミット旧堀切邸視察



旧堀切邸



桑折宿サミット研修会



桑折宿サミット旧伊達郡役所三元車視察



旧伊達郡役所三元車

お知らせ

県北農林事務所 転入者の紹介 (平成27年4月定期人事異動)

新所属		氏名	旧所属	
所長		後藤 庸貴	農林水産部	次長 (農村整備担当)
総務部総務課	主査	本多 早苗	精神保健福祉センター	主査
企画部指導調整課	主査 (指導調整課キャップ)	猪股 和子	文書管財総室 (公立大学法人福島県立医科大学)	主査
企画部指導調整課	専門員	西條 義夫	農業総合センター畜産研究所	主任主査
農業振興普及部	農業振興普及部長	渡邊 史夫	会津農林事務所	農業振興普及部長
農業振興普及部農業振興課	農業振興課長	黒津 賢治	農業総合センター	農場管理課 主任主査兼課長
農業振興普及部農業振興課	主査	藤田 智博	農業総合センター	主任研究員
農業振興普及部農業振興課	主査	根本 久男	職員組合	専従休職
農業振興普及部農業振興課	主査	関 和彦	文書管財総室 (公立大学法人福島県立医科大学)	主査
農業振興普及部地域農業推進課	主査	丹治 仁子	農業総合センター	主査
農業振興普及部地域農業推進課	技師	有賀 雅喜	新規採用	
農業振興普及部地域農業推進課	専門員	遠藤 孝悦	南会津農林事務所	企画部長
農業振興普及部経営支援課	技師	中里 ゆきの	新規採用	
農村整備部	農村整備部長	山内 冬彦	会津農林事務所	企画部長兼 地域農林企画課長
農村整備部	主幹兼副部長	積口 和司	いわき農林事務所	農業振興普及部副部長
農村整備部農地計画課	主査	宮崎 重雄	県中農林事務所	主査
農村整備部農地計画課	専門員	米谷 聡	農林水産総室農林技術課	主任主査
農村整備部農村整備課	農村整備課長	氏家 武善	農村整備総室	農村基盤整備課 主任主査
農村整備部農村整備課	副主査	赤間 博文	新規採用 (任期付職員)	出納局工事検査課 専門工事検査員
森林林業部	副部長	鈴木 浩治	相双農林事務所	総務部 専門技術管理員
森林林業部林業課	主査 (林業課キャップ)	松本 文章	森林林業総室	主査
森林林業部林業課	主査	小野田 義宏	相双農林事務所	主査
森林林業部森林土木課	森林土木課長	國分 真悟	相双農林事務所	森林林業部 林業課長
伊達農業普及所	所長兼農業振興普及部主幹	吉田 清	農業総合センター	企画経営部長
伊達農業普及所	次長兼地域農業推進課長	岡崎 一博	生産流通総室	園芸課主任主査
伊達農業普及所地域農業推進課	主査	鈴木 幸雄	農業総合センター	主任研究員
伊達農業普及所地域農業推進課	主査	平野 朝子	生産流通総室	主査
伊達農業普及所経営支援課	技師	南 和希	新規採用	
安達農業普及所地域農業推進課	技師	南 春菜	県北農林事務所伊達農業普及所	技師
安達農業普及所経営支援課	主査	新妻 恭子	県北農林事務所 農業振興普及部	主査

福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課
 電話 024-535-0382
 FAX 024-536-9590
 電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

